



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
11/29 (月)	▲ 700	+ 4,800	+ 4,100	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	CP等買入 ▲400 国債補完供給 + 100		日: 黒田日銀総裁、パリ・ユーロプラス主催の 会合 (オンライン) で講演 米: FRB議長とニューヨーク連銀総裁、 オンラインイベントで冒頭挨拶
11/30 (火)	▲ 300	+ 3,000	+ 2,700			CP等買入 + 5,000	米: FRB議長と財務長官、上院銀行委で証言 米: 消費者信頼感指数 (11月)
12/1 (水)	トン	▲ 22,000	▲ 22,000	国債発行・償還 (2年)	成長基盤 ▲ 6,200		日: 【挨拶】 安達審議委員 (大分) 米: 米地区連銀経済報告 (ページブック) 公表
12/2 (木)	▲ 1,000	▲ 81,000	▲ 82,000	税・保険揚げ			日: 【挨拶】 鈴木審議委員 (兵庫) 米: 新規失業保険申請件数 (27日終了週)
12/3 (金)	▲ 1,000	▲ 26,000	▲ 27,000	国債発行 (10年)			米: 雇用統計 (11月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初534兆9,700億円から始まった。25日に国債買入オペ等により535兆4,400億円まで増加。26日には新型コロナオペ等により、535兆9,400億円まで増加し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は、△0.038%から始まった。その後、一部ビッドサイドに調達量を制限する先が見られるなど、同金利は週末に向けて低下基調を辿り、△0.043%で越週した。ターム物については、1~2W物を中心に△0.030%~△0.005%の水準で出合が見られた。

来週の主な予定は、国内で11月29日にパリ・ユーロプラス主催の会合にて黒田日銀総裁による講演 (オンライン)、12月1日に安達日銀審議委員の挨拶 (大分)、12月2日に鈴木日銀審議委員の挨拶 (兵庫) などがあり、海外では11月30日に米FRB議長と財務長官による上院銀行委での証言、12月3日に米雇用統計の発表などがある。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.085 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

### <レポ>

今週の足許GC取引は、週を通して大きな動きはなく△0.10%近辺の水準で推移した。短国3Mの発行が行われた29日受渡しの取引でも、大きな上昇は見られず同水準で越週した。SC取引では2年410~430回債、5年137~149回債、10年333~364回債、20年163~178回債、30年69~72回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.080 ~ 0.000

### <CP>

今週の入札発行総額は約1兆3,300億円で、週間償還額 (約1兆3,700億円) を若干下回った。発行市場は、月末の大量償還 (約1兆1,400億円) に対して、新規発行は約8,700億円に止まり償還超となったが、月末や月初スタートで鉄鋼業や電気業等の大型案件が見られたことから、マーケットはやや活況となった。発行残高は先週末の24兆8,625億円から、25日時点で25兆1,604億円に増加した。発行レートは、引き続き、希少銘柄等においては深いマイナスレートでの出合いも見られたが、大型発行案件については浅いマイナスレートでの出合いとなった。25日にCP等買入オペが予定通り5,000億円でオフアされた。結果は、按分レート△0.014%・平均落札レート△0.011%と前回 (按分レート△0.015%・平均落札レート△0.013%) 比で上昇した。

来週の週間償還額は、約800億円程度となっている。発行市場は、償還も少なく、落ち着いたマーケットになると思われる。発行レートは、日銀オペ等の対象銘柄や希少銘柄等では、引き続き深いマイナスレートでの出合いを予想する。

【レンジ】CP3M (a-1+) △0.080%~0.000% 現先取引 △0.050%~0.000%

### <TDB>

11月24日の6M1040回債(2022年5月25日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1330% (前回債△0.1128%)、平均落札利回り△0.1370% (前回債△0.1168%) となり、11月26日の3M1041回債(2022年3月7日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1470% (前回債△0.1377%)、平均落札利回り△0.1518% (前回債△0.1388%) となった。来週は12月3日に3Mの入札がある